

名簿を見比べるのをやめる XLOOKUP

コードから氏名を表示し、未登録を確かめる

TX
04

Microsoft Excel 2021以降 | 架空データで実習

コードから氏名を表示し、未登録を確かめる

Microsoft Excel 2021以降。架空データで練習する

- 1 コードから名簿の氏名を表示する
- 2 範囲を固定し、全員へコピーして確かめる
- 3 未登録の人を読み、次に確認することを決める

練習ブックの「使い方」を開き、次に「参加申込」へ
元の申込3列と名簿は残し、D列へ照合結果を出す

二つの一覧を、共通のコードで結ぶ

参加申込B2のP007と、名簿の同じコードを探す（一覧の一部）

「参加申込」（申込の順）

	A	B	C	D
1	受付番号	対象者コード	申込者氏名	名簿の氏名
2	A001	P007	松井健	
3	A002	P003	高橋紗季	
4	A003	P018	山崎莉子	
5	A004	P025	森田葵	
6	A005	P011	三浦拓海	
7	A006	P001	田中悠斗	
8	A007	P014	石井颯太	
9	A008	P009	小川美月	
10	A009	P002	佐藤遥	
11	A010	P031	岸本航	

「対象者名簿」（名簿の順）

	A	B	C
1	対象者コード	氏名	地区
2	P003	高橋紗季	北部
3	P011	三浦拓海	南部
4	P001	田中悠斗	中央
5	P017	福田陽菜	北部
6	P009	小川美月	南部
7	P005	吉田真央	中央
8	P014	石井颯太	北部
9	P002	佐藤遥	南部
10	P020	遠藤咲	中央
11	P007	松井健	北部

並び順をそろえず、同じコードの行を探せる

名簿から返すのは氏名。申込者氏名は元のまま残す

同じ氏名でも、コードが違えば別の人

対象者名簿には「松井健」が2人いる

「対象者名簿」（抜粋）

	A	B	C
1	対象者コード	氏名	地区
11	P007	松井健	北部
18	P008	松井健	南部

「参加申込」（抜粋）

	A	B	C
1	受付番号	対象者コード	申込者氏名
2	A001	P007	松井健
13	A012	P008	松井健

氏名で探すと

「松井健」の行が2つ見つかり、
どちらの人か決められない。

コードで探すと

A001 → P007（北部）

A012 → P008（南部）

1人に1つのコードなら、同じ氏名でも別の人として照合
できる。

P007とP008を、氏名だけでは区別できない

今回の名簿は、コードが一意・氏名が記入済み

何を探し、どこで探し、何を返すか

B2のコードを探し、名簿の同じ行から氏名を返す（一覧の一部）

「参加申込」				
	A	B	C	D
1	受付番号	対象者コード	申込者氏名	名簿の氏名
2	A001	P007	松井健	
3	A002	P003	高橋紗季	
4	A003	P018	山崎莉子	

「対象者名簿」			
	A	B	C
1	対象者コード	氏名	地区
2	P003	高橋紗季	北部
3	P011	三浦拓海	南部
4	P001	田中悠斗	中央
5	P017	福田陽菜	北部
6	P009	小川美月	南部
7	P005	吉田真央	中央
8	P014	石井颯太	北部
9	P002	佐藤遥	南部
10	P020	遠藤咲	中央
11	P007	松井健	北部

- ① 検索値：参加申込 B2
- ② 検索範囲：対象者名簿 A2:A21
- ③ 戻り配列：対象者名簿 B2:B21

名簿のコード列と氏名列は、同じ2～21行目

見出しの1行目は入れず、入力先は参加申込のD2

D2に式を入力する手順

D2を選び、2～6の右の文字を続けて入力する

1 「参加申込」のD2をクリック

式を入れるセルを選ぶ

2 関数の入力始める

=XLOOKUP(

3 探すコードを指定する

B2,

4 名簿のコード列を指定する

対象者名簿!\$A\$2:\$A\$21,

5 同じ行の氏名列を指定する

対象者名簿!\$B\$2:\$B\$21,

6 見つからない場合を指定する

"未登録")

6まで入力したらEnterを押す。D2に「松井健」が表示される

\$・カンマ・二重引用符は半角。入力の途中ではEnterを押さない

D2にXLOOKUPの式を入力する

申込のコードから、名簿の氏名を表示する

=XLOOKUP(B2,対象者名簿!\$A\$2:\$A\$21,対象者名簿!\$B\$2:\$B\$21,"未登録")

① 検索値

② 検索範囲（コード列）

③ 戻り配列（氏名列）

④ 見つからない場合

入力前

	A	B	C	D
1	受付番号	対象者コード	申込者氏名	名簿の氏名
2	A001	P007	松井健	

入力後（D2を選び直した状態）

	A	B	C	D
1	受付番号	対象者コード	申込者氏名	名簿の氏名
2	A001	P007	松井健	松井健

入力のポイント

- ・①は申込側のB2（最初の申込者の対象者コード）。
- ・②と③は対象者名簿の同じ2～21行目。
見出しの1行目は入れない。
- ・④「未登録」は半角の二重引用符 " " で囲む。
- ・D2に「松井健」と出たら、最初の1人を照合できた。

D2に「松井健」と出たら、最初の1人を照合できた

D2を選び直し、数式バーで式を確かめる

名簿の範囲を固定して、下へコピーする

D2右下の■をD3へドラッグ → D3を選び、数式バーを見る

D2の式

=XLOOKUP(**B2**,対象者名簿!\$A\$2:\$A\$21,対象者名簿!\$B\$2:\$B\$21,"未登録")



D3では

B3

名簿の2範囲は同じ（\$で固定）

XLOOKUP(の直後の検索値だけが変わる

	A	B	C	D
1	受付番号	対象者コード	申込者氏名	名簿の氏名
2	A001	P007	松井健	松井健
3	A002	P003	高橋紗季	高橋紗季

D3の氏名は
「高橋紗季」

黄色も下へ広がる。結果は氏名と「未登録」で確かめる

次はD19までコピー。検索値はB19、名簿の2範囲は同じ

D19までコピーし、式と氏名を確かめる

D2右下の■をD19までドラッグ。D19を選び直す

「参加申込」（抜粋：先頭・途中・最終）

	A	B	C	D	
1	受付番号 ▼	対象者コード ▼	申込者氏名 ▼	名簿の氏名 ▼	
2	A001	P007	松井健	松井健	先頭
10	A009	P002	佐藤遥	佐藤遥	途中
19	A018	P015	河野理沙	河野理沙	最終

D19の式

=XLOOKUP(B19,対象者名簿!\$A\$2:\$A\$21,対象者名簿!\$B\$2:\$B\$21,"未登録")

対象者名簿で、先頭・途中・最終のコードと氏名を照合

D19の検索値はB19。名簿の2範囲はD2と同じ

D列を「未登録」だけに絞る

1 D1「名簿の氏名」の▼を開く

	C	D
1	申込者氏名	▼ 名簿の氏名

メニュー上の一覧

... ☒ (すべて選択) ...

... ☒ 伊藤優 ...

... ☒ 遠藤咲 ...

... ☒ 河野理沙 ...

一覧の最後

... ☐ 松井健 ...

... ☐ 石井颯太 ...

... ☐ 村上光 ...

... ☐ 田中悠斗 ...

... ☐ 渡辺陸 ...

... ☐ 福田陽菜 ...

... ☒ 未登録 ...

4 OK キャンセル

2 すべて選択を外す

3 「未登録」にチェック

4 OKを押す

「未登録」の行だけが表示されたら、C列を見る

氏名は申込者氏名の列で読む。表示された行を数える

「未登録」は、次に確認する人の目印

C列の申込者氏名と人数を、回答欄A24:C24に書く

	A	B	C	D
1	受付番号	対象者コード	申込者氏名	名簿の氏名
5	A004	P025	森田葵	① 未登録
11	A010	P031	岸本航	② 未登録
17	A016	P044	岩田結衣	③ 未登録

氏名15人 + 未登録3人 = 申込18人

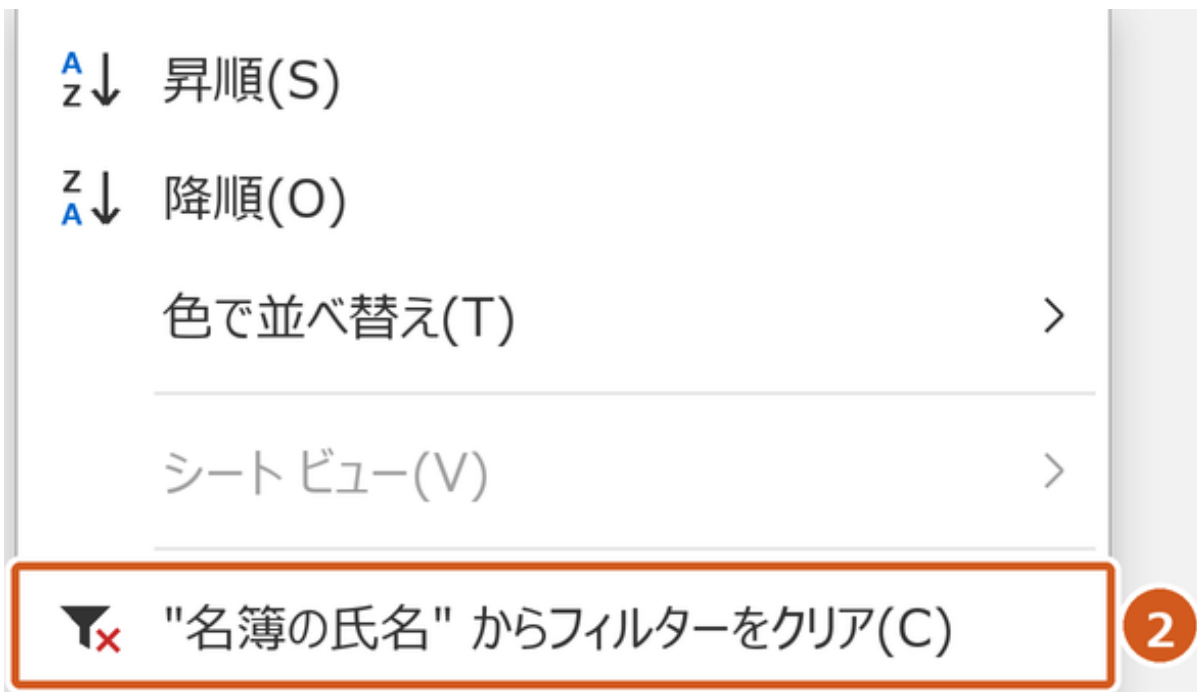
問い：未登録の人について、まず何を確かめる？

コードが指定した範囲に見つからなかった、という意味

参加不可と即断せず、コード・名簿の版・最終行を確認

絞り込みを解除し、全18人の表示へ戻す

D1の▼から「名簿の氏名 からフィルターをクリア」



18人に戻ったか確認

A001からA018まで表示される

抽出条件を残さず、全員を見られる状態に戻す

式が入らない・結果がおかしいときの確認へ

式が入らない・結果がおかしいときの確認場所

式を直したら、先頭の結果を確認してからコピーし直す

症状

式が入力できない

#N/A

コピー後だけ未登録が増える

#VALUE!

違う氏名や0が出る

最初に見る場所

等号・カンマ・括弧・半角の引用符

4番目の引数に "未登録" を指定

名簿の2範囲の\$と最終行

2範囲の開始・終了行をそろえる

返す列・氏名の空欄・コードの重複

分からない箇所は、式とセルを選んで講師へ示す

自力課題では、共通演習の手順を参照してよい

自力課題：別の名簿から職員名を表示する

「研修申込」と「職員名簿」。コード列と返す列を自分で選ぶ（一覧の一部）

「研修申込」

	A	B	C	D
1	申込番号	職員コード	申込者氏名	名簿の職員名
2	R001	E011	山本晴	
3	R002	E002	木村葵	
4	R003	E019	坂口蓮	
5	R004	E015	池田陽	
6	R005	E001	橋本玲奈	
7	R006	E009	清水彩	
8	R007	E022	大野真帆	
9	R008	E004	斎藤悠	
10	R009	E013	長谷川健	
11	R010	E027	服部悠	
12	R011	E006	中村結	
13	R012	E007	小林律	

「職員名簿」（列の順番が違う）

	A	B	C
1	職員名	所属	職員コード
2	中村結	総務課	E006
3	山本晴	市民課	E011
4	木村葵	福祉課	E002
5	林直樹	会計課	E014
6	清水彩	企画課	E009
7	斎藤悠	防災課	E004
8	池田陽	税務課	E015
9	橋本玲奈	環境課	E001
10	阿部遼	産業課	F008

D2に式を作り、D13までコピー。未登録だけに絞る

回答欄A18:C18に、人数・申込者氏名・次の確認を書く

共通手順は参照可。完成ブックとカードは47分から

答え合わせ：職員名はコードの左側にある

完成ブックとカードを開き、検索範囲と戻り配列を照合する

	A	B	C
1	職員名 ③	所属	職員コード ②
2	中村結	総務課	E006
3	山本晴	市民課	E011
4	木村葵	福祉課	E002
5	林直樹	会計課	E014
6	清水彩	企画課	E009
7	斎藤悠	防災課	E004
8	池田陽	税務課	E015
9	橋本玲奈	環境課	E001
10	阿部湊	産業課	E008
11	山下杏	建設課	E012
12	石川圭	教育課	E003
13	前田滯	総務課	E010
14	井上優奈	市民課	E005
15	長谷川健	福祉課	E013
16	小林律	会計課	E007

検索値：研修申込のB2

検索範囲：職員名簿のC列

戻り配列：職員名簿のA列

同じ2～16行目を固定する

=XLOOKUP(B2,職員名簿!\$C\$2:\$C\$16,職員名簿!\$A\$2:\$A\$16,"未登録")

先頭E011は山本晴、最終E007は小林律。D13の検索値はB13

答え合わせ：未登録の氏名と次の確認

人数・申込者氏名・次の確認を、自分の回答と比べる

	A	B	C	D
1	申込番号	職員コード	申込者氏名	名簿の職員名
4	R003	E019	坂口蓮	未登録
8	R007	E022	大野真帆	未登録
11	R010	E027	服部悠	未登録

職員名9人 + 未登録3人 = 研修申込12人

確認例：申込のコード、名簿の更新日・最終行を確かめる

回答後はフィルターを解除して、全12人の表示へ戻す

未登録の理由は、この結果だけでは確定できない

自分の業務なら、どの二つの一覧を照合する？

カードの転用欄に、自分の担当台帳を書いてみる

結果を出す一覧：_____ 参照する名簿と版：_____

共通のコード：_____ 表示したい列：_____

未登録なら、まず何を確かめる？

例：事業参加申込と対象者名簿を、対象者コードで照合。
氏名を表示し、未登録ならコードと名簿の更新日を確認。

実データを持ち込まず、一覧と列の名前で書く

明日試すことを、一つの具体的な行動にする

明日は、結果を出す一覧の数行で試す

まず、二つの一覧に共通のコードがあるかを見る

名簿は全行を検索範囲に。版・最終行・重複を確認

結果を出す一覧の写しで、数行の氏名と未登録を確かめる

名簿のコードが重複すると、最初に一致した行が返る

自分の担当台帳で、最初に確かめることを書いておく

今日できたことを、式と結果で振り返る

自分の言葉で、できたことと次に試すことを確かめる

コードから、名簿の氏名を表示できた？

コピーで動くセルと固定範囲を説明できた？

未登録の人と、次に確認することを言えた？

明日試す台帳と、最初の確認を一つ書いて持ち帰る